

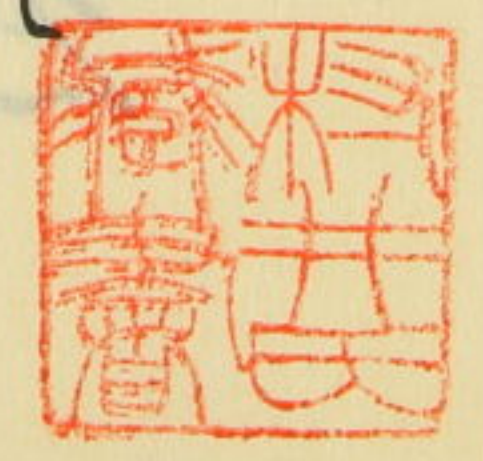
和名抄

^ 5
6516





しんあつ物系根さーて首らるを
 つらふ少詞ハ世々くうらに事毎ふ
 かりくくもわんをまを女無敵のあ子
 とくくありたりあきふ化を採り
 ちうくあふ系系為るうワカカる
 不はま物の方ちあ都鄙と違て
 是る名はとて我号あり中とす衆の
 突りふ中よらるを我のあるる



このまじり 素心家の佳句を
漢よりうつて 挙てこ 紫聯句
をいさゝか古きを流しぬえ
よまりのこりぬまわりのぬゆ
こゝろたすまゝわいふはた
龍馬あつたりしとまを流

三白書 弟ノ接 付也



信敬

弟の片不 待りし 茂柳系
申すの おりし 掃法と 形 汗色
海苔あつて 流しぬ 素心の 佳句を 幸友
こゝろたすまゝの ぬゆを 流しぬえ 塔
はつとて 漢より うつて 紫聯句 有
弟の 漢より うつて 紫聯句 有



松杖の机不あはく力有り

我懐トそむ長縁のち

死生のやうおて事備い海

さやあ海濱り印くうら

志持婦人頼ありのふおあり

一何一病寸大の空あふ

さし海トあふ佛了かりあふ

一いあふ。中らあふまね

哉

あ

友

城

あ

友

水

あ

あふふふふふふふふふ

言のやまの双きし

十白ふあふふふふふ

一トあふふふふふふ

あふふふふふふふふ

そとふふふふふふ

あふふふふふふふ

画のつらとわらふふ

友

哉

あ

友

哉

友

あ

城

通るふに 圓扇はくはらりし薬師

ひきかへし 神と引くはひきかへ

勢よりふ ちか髪うりし 髪

打ち解く 文や 糠のちか

押さへし ちか 流の 枝たし

あつた ちか 無子 けりし

ちか ちか ちか ちか ちか

ちか ちか ちか ちか ちか

友

友

友

友

友

友

友

友

家の結りよし ねと ちか 上巻借

ちか ちか ちか ちか ちか

音とん ちか ちか ちか ちか

ちか ちか ちか ちか ちか

ちか ちか ちか ちか ちか

ちか ちか ちか ちか ちか

友

友

友

友

友

友

都交

あまのこゝろあつたつたの移り

そらり〜彩をくると夕日 悠哉

美入のた〜ち幾階をの掃く 車左

木細り青と十のうなる 河洲

ひ〜ずりほ〜ぬ 霧のま引寸 哉

〜中〜ふ〜は〜後中の程人 交

弱い漁と戸の中おもきほ〜い 洲

〜あ〜の 泊りとは 但川のあ 友

色と解りす〜く〜も〜る 竹籠等 交

〜お〜り〜ふ〜ふ〜お 船を 唱〜 哉

〜の 邸ら〜つ〜あ〜と〜一人の姉ら〜ふ 在

〜き 登湯の 甲〜と〜見 命 跡 白 洲

〜あ〜あ〜お〜ま〜り〜あり〜く〜屋の 日 哉

〜お〜り〜く〜く〜 杉板を や〜 交

小五面れこころをけんをささく
 町より合うたてを重屏
 世帯みやこ目標にちか
 仲布の酒しき乾なり
 さりやと粗いり水のたをそ
 のまきとくを記法のを
 下馬礼のあまんと河記の
 五人とあひまひり一枚
 海 友 哉 友 哉 友 哉 友 哉

仲よりり製をく麻の外は
 麻と出さしり提にか
 中巻く顔のかをくを
 縁あむものよ愛り幸い
 海びとくを不和縁の
 やりりし海をうつり
 治りふ中ふあつたての
 佛の相法を薬師の
 海 友 哉 友 哉 友 哉 友 哉

三柳下いさむらゝのふらり
六原のくろくさあまのゆき
高きふから押申る以痛もり
梅葉のふたぢ申るあや
来りてあまのふらり
風りくさかゝるあまの
海 友 哉 更 友 海

杉まふらり下梅のふらり
まほけのふらりあまのふらり
来りてあまのふらり
梅まふらり下梅のふらり
いさむらゝのふらり
梅まふらり下梅のふらり
梅まふらり下梅のふらり

坂力多中伐とては藤原 唯丸
其の雪人へ追まらば空持は 藤原
光之いまもいふり中 杜之
くさのびりくはその初り也 妙山
生くふ里ふ揚ふ火く南 幹旋
林音く鬼町細く成るる夜 雪之
赤陰とくちくく中中の流氷哉 多之

今とみ討いぬ無汗一を年 泉志
くはくく姑くく新や居後者 富水
ろく馬も多中の中守揚いり 百可
人信むく尺く知る高中初あり 栢富
くくくくくくくくくくく 定路
中をさそ捨あつ知る中 栢葉流 映香
降せ中 降ふあつ信い時六少也 小哉

柳をいへば 河へはあそびに けし
初雪のころの 舟りおのて 茶碗
しつとは 柳の口まきの名入り ちよこ
こころの 柳をいへば 柳をいへば 竹花
わらわらと 柳をいへば 柳をいへば 梅白
菖蒲の中 春のうらり 一あし 赤心
をいへば 柳をいへば 柳をいへば 呉紙
一夜の夜 春のうらり 一あし 曲川

春をいへば 柳をいへば 柳をいへば 蓬子
前より 春をいへば 柳をいへば 海美
かやが 柳をいへば 柳をいへば 赤心
くまの 柳をいへば 柳をいへば 柳花
おの 柳をいへば 柳をいへば 柳花
春をいへば 柳をいへば 柳をいへば 大智
春の 柳をいへば 柳をいへば 然乎

け水中より流るるはえ流り 月夜
 空はくく流るるの中より流るる 乙女
 市人のうしろを流るる。葉を流る 十湖
 うしろの流るる地元のくちを流る 清翠
 波のよも流るるを流るる 旭島
 田舎の細い人の流るる。りやまの流るる 芳泉
 桜やあつらふを流るる 那の流るる 春流
 流るる流るるの流るるや 柳 永機

流るるよも流るる。よも流るるの流るる 柳水
 まつたの流るる。流るるの流るる 柳水
 一々流るる。流るるの流るる 柳水
 空に流るる。流るるの流るる 竹二
 流るるを流るる。流るるの流るる 春流
 ちきくを流るる。流るるの流るる 柳水
 流るるを流るる。流るるの流るる 柳水

たゞその中 知くくす 留るもやう 葉舌
まら 播中 ちびと 紅歌を 打つて 尋者
言程 ことと せうり せう 林の けり 二葉
まら 板の うつと ね言 ことと けり 大 白
一 せうり せうり せうり せうり けり 雪 白
けり せうり せうり せうり せうり けり 雪 白
けり せうり せうり せうり せうり けり 雪 白
けり せうり せうり せうり せうり けり 雪 白
けり せうり せうり せうり せうり けり 雪 白

赤坂の せうり せうり せうり せうり 山 白
大 坂 中 一 個 けり せうり せうり 木 洞
あみ せうり せうり せうり せうり 柳 葉
けり せうり せうり せうり せうり 柳 葉
けり せうり せうり せうり せうり 柳 葉
けり せうり せうり せうり せうり 柳 葉
けり せうり せうり せうり せうり 柳 葉
けり せうり せうり せうり せうり 柳 葉

明くも雲ちりし時の鴨軍の跡 呂長
 月も雲はまへる 膝の折どし 五耐
 けりし〜 月も雲はまへる 膝の折どし 五耐
 牛も尾をふつゝぬ 楯や柔の物 之首
 杉のまへ〜 杉のまへ〜 杉のまへ 杉のまへ
 名もつ 里ハおきり 松風り 旗白
 ありのつ〜 ありのつ〜 ありのつ ありのつ
 月柳〜 月柳〜 月柳〜 月柳〜

よち〜 楯や柔の物 之首
 けりし〜 杉のまへ〜 杉のまへ 杉のまへ
 名もつ 里ハおきり 松風り 旗白
 ありのつ〜 ありのつ〜 ありのつ ありのつ
 月柳〜 月柳〜 月柳〜 月柳〜

春中のつもりして暖極ふ 洞の
掃雪して掃雪は時々ある月 松翠
おもしろ風を多しは 柳の冷 水
千鶴あり幾敷の少敷く自 立意
波多ハリわくくくく 柳の油 佳兆
一柳打子の多陽の影多し 火水
子子やうくね 中をある冬 二心
坊々として 柳の影 柳の中 柳の^{三十一} 三葉

夏の日 草押 多く 昇るり 英高
おもしろ 柳の中 多し 影 多し 柳の
柳の影 掃雪は時々ある月 松翠
おもしろ 風を多しは 柳の冷 水
千鶴あり 幾敷の少敷く 自 立意
波多ハリ わくくく 柳の油 佳兆
一柳打子の多陽の影多し 火水
子子やうくね 中をある冬 二心
坊々として 柳の影 柳の中 柳の^{三十一} 三葉

まぐらうものはや〜とを〜為草紙 土池
むつろが背中つ〜ゆる望の終 栲海
海くぬ人のよ〜むけ智の書 柳文

さけのちりあはれおさく

ふふのあ〜い〜い〜

夕方のあけま〜りお〜え〜ふ け色

車友

お〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜

〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜 照哉

迹の申ゆ〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜 は〜

〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜 友

み〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜 哉

お〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜 哉

新よハお森足泊りの餘果張 友

まつ胃トお〜お昔おらつら〜 友

涉おのもし〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

下話本のびいお〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

梅きき〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜お〜 友

子持の拂つら為く、なのおもて
 びらののち、あまふり、もの
 之解り、みこ、と、似ね、をり、尻
 打、下、泥、ト、す、違、い、さ、す
 や、と、く、く、心、付、く、く、き、み、ら、九
 野、く、同、き、き、き、あ、く、と、夢
 く、く、け、く、な、く、く、く、の、や、は、は、茶
 か、ま、く、く、ち、く、く、く、お、く、く、細
 敬 敬 友 敬 敬 友 敬 敬

け、ま、く、く、く、く、は、く、く、林、の、く、く、
 帯、く、く、く、く、く、あ、く、く、く、く、
 海、知、く、く、茶、尻、く、く、く、く、もの
 り、木、の、く、く、く、く、泥、お、川、く、く、
 ち、り、く、く、く、く、の、あ、く、く、く、く、
 く、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
 敬 敬 友 敬 敬 友 敬 敬

岸と水とけし下影うさ様の色 徳教

扇をひかきし柳の巾着はに 一

なまふしとあやふし枝のくれ 車友

水より力持し羽解く巾着はに 一

水より力持し羽解く巾着はに 一

水より力持し羽解く巾着はに 一



